

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	農・林・水産業	
			地域医療、福祉・介護、教育	観光・交流	○
			地域コミュニティ・集落再生	環境	
			地域交通・情報通信	まちづくり	◎
ふりがな		ふじた としこ			
氏名		藤田 とし子			
所属	名称	まちとひと 感動のデザイン研究所			
	役職	代表 / 防災士			
連絡	住所	(公開)	〒 277-0072		
			千葉県 柏市 つくしが丘 3-7-1		(職場)
	連絡先	(公開)	E-Mail info[アットマーク]kando-design.com		
		(非公開)	TEL -	FAX -	
連絡方法		E-Mailでお願いします			
略歴		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学卒業後、(株)西友入社。その後、マーケティングリサーチ会社、フリーランスライターを経て、平成13年7月、NPO法人柏市インフォメーション協会入局。市の情報提供施設『かしわインフォメーションセンター』の事務局長として「情報発信」を核としたまちづくり事業に取り組みました。平成19年11月、地方自治法制定60周年記念総務大臣表彰(団体の部)を受賞。市民参加型・まち歩きマップを考案し、「ウラカンMAP」が大ブレイク。中心市街地のにぎわいと回遊性創出の手法として、高い評価を得ました。</li> <li>・一方で、JR常磐線沿線魅力の向上につなげるべく、『JOBANアートラインプロジェクト』を企画、構想。2007年、地元柏市での『アートライン柏プロジェクト』を仲間とともに立ち上げ、多様な主体の参加と連携による新たなまちの魅力創出に向け取り組みました。この活動はすべてボランティアスタッフの企画・運営で開催されており、行政等の支援を受けながら16年たった現在(2023年)も、毎年秋に開催されています。</li> <li>・平成21年2月、国の地域商業活性化事業の一翼を担う(株)全国商店街支援センターに移籍。事業統括役として、全国各地の商店街を訪問し地域活性化事業の推進に力を注ぎました。</li> <li>・平成23年10月、『まちとひと 感動のデザイン研究所』設立。現在、同研究所代表・地域活性化アドバイザーとして、全国各地の地域活性化事業、過疎地域の商業再生事業の伴走支援を行っています。</li> <li>・事業の伴走支援にあたっては【地域人材の発掘・新たな担い手の育成】に注力し、一過性の集客イベントや賑わい創出で終わらぬよう、【持続可能な地域づくり】を実現する「人づくり」に尽力しています。</li> </ul>			
著作・論文等		<ul style="list-style-type: none"> <li>□『区画整理』20130.8 / 公益社団法人 街づくり区画整理協会 (寄稿) 情報提供施設から、まちづくりステーションへ ~かしわインフォメーションセンター10年の歩み~</li> <li>□『CITY in CITY』2013.03.23 / 全国市街地再開発協会 (鼎談) 地域を育む商店街 一創客と集客一</li> <li>□『地域開発』2012.12 / 一般財団法人 地域開発センター (寄稿) イメージアップ戦略でまちを活性化 一多様な主体の連携による、まち育て・人育て</li> <li>□毎日新聞 オピニオン欄 / 2012.11.23 (寄稿) 地方発 商店街を地域の拠点に</li> <li>□『広報 no.667』一般社団法人 日本広報協会 / 2011.12.10 (寄稿) ストーリー性のある情報提供で、まちの回遊性を高める</li> </ul>			
取組概要		<p>1) 戦略的情報発信事業による、まちのにぎわい創出&amp;回遊性の演出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報の受け手」である市民・消費者を「情報の発信者」に！を合言葉に、市民参加型まち歩きMAP=【ペーパー版facebook】プロジェクトを各地で展開しています。</li> <li>・市民有志が自ら住み慣れたまちなかを歩き調査し、集めた情報を自身の言葉でMAPに綴ること、既存のマップと差別化。情報の受け手の共感→共振→感動のスパイラルを醸成し、「訪れて楽しいまち」のイメージ形成へとつなげていきます。</li> </ul> <p>2) まちのブランディングと新たな担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の多様な主体の参加によるワークショップを開催。地域の現状・特性の把握を行い、「このまちならではの」魅力発見と地域活性化の手法を皆で見出し、まちのブランディングへとつながる事業を展開していきます。</li> <li>・事業展開の過程において、地域活性化の新たな担い手を見出し、地域ぐるみで育成していく「しくみ」と「ネットワーク」の形成にも、力を注いでいます。</li> </ul> <p>・栃木県日光市中心市街地、埼玉県寄居町、茨城県利根町等、次世代の担い手育成を目的に「若者会議」を立ち上げ、新たな地域人材の発掘・育成に取り組んでいます。支援後も持続可能な活動となるよう、運営体制の構築や実際の運営についてもきめ細やかなアドバイスを適宜行っています。</p>			
メッセージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化のキーワード、それは【まちに対する誇りと愛着】、そして【情報発信】。まずは住んでいる人が自ら、地域の魅力を再発見し、活性化の担い手としての意識を持つことが大切です。そのためにも、「集客」目的のイベントから脱却し、新たな担い手育成とまちのファンづくり=「創客」を目標に、持続可能な活性化のしくみづくりが必要だと考えています。次の世代に引き継ぐことができる「心豊かなまちづくり」を実践していきましょう！</li> </ul>			
関連ホームページ		-	活動エリア	全国	

※ 公開できる情報のみ掲載しています。  
 ※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。  
 ※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。